

音楽劇

# がんばろう

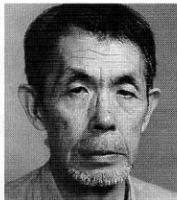
舞台は「三池闘争」が激烈を極めていた1960(昭和35)年の福岡県大牟田市。あの年、全国の労働者の憤激は高まり、「三池闘争」は新しい段階を迎えていた。労働歌「がんばろう」を作曲した荒木栄もその一人であった。荒木栄は「歌声運動」で地道に闘争を支えた。新作『**がんばろう**』は、荒木栄の家の近所に住む炭鉱の家族の物語でもあり、荒木栄とその仲間たちの物語でもある。炭鉱の家族は四人兄妹の大家族である。購買組合(ばいかんば)に勤務する長女の瑞穂がおもちゃのピアノで荒木栄作曲の「星よおまえは」を歌っている。長男の巖太郎には氏名解雇状が送られていた。末っ娘の律子は高校を中退しなければいけないかもしれない。次男の巖次郎に組合への入会を勧めているのは同級生の黒田純である。大家族の隣の空き地には「恋愛沙汰と刃傷沙汰には辟易しとると」が口癖の未亡人桜井静子が営む屋台の総菜屋がある。1278名の氏名解雇状が会社から発送された1959(昭和34)年の暮れも押し迫った12月11日の夕暮れ、「西鉄ライオンズ」のスカウトマン上杉忠治が大牟田を訪れる。惣菜屋では、筑豊から流れて来た通称「死ぬまで寝太郎」や、流しのギター弾き通称「働かざる吾一」が憤っていた。吾一も巖次郎の同級生である。静子の息子和彦がオートバイに送られて帰って来た。和彦は三池商業高校の控え投手である。ヘリコプターから「退職勧告」のビラが配られ、退職勧告状を詰めた千両箱が燃え盛る。かくて、熱く激しい1960年が訪れた……。



伊東 達広



金沢 映子



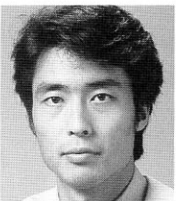
小池 幸次



汐見 直行



旺 なつき



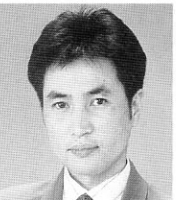
高橋 広司



溝口 順子



中西 和久



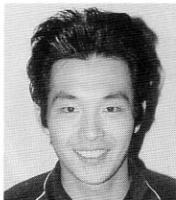
増山 浩一



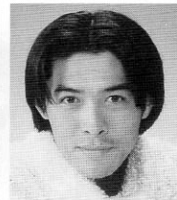
岡 夏海



紺野 康文



望月 大助



服部 桂吾

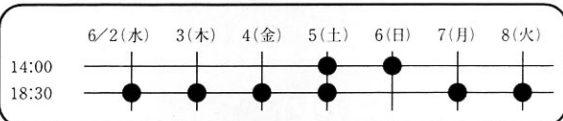


瀬川 新一



丸尾 聡

制作	岡部企画	題字	岡部耕大	写真	山本悟正	イラスト	ハヤシユウコ	舞台監督	山田和彦	振付	橋 恵美	音響	杉澤守男	照明	西尾憲一	音楽	羽柴 昂	美術	孫福剛久	スタッフ
----	------	----	------	----	------	------	--------	------	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	------



問合わせ・前売り 岡部企画 044-933-9754  
 前売り 紀伊國屋インフォメーション  
 [新宿東口 紀伊國屋書店1F (店頭販売のみ)]  
 チケットぴあ 03-5237-9999  
 チケットセゾン 03-3250-9999  
 料金/4,000円 [全席指定]  
 高校生以下/2,500円